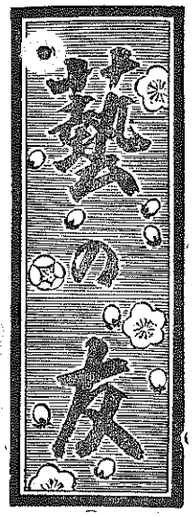
昭和五十六年十月一日発行



琵琶特集
十月号

筑前琵琶の妙技を競う豪華
日本橋会全国大会大芸術祭

全国の選良六十名が十月四日 広島の中国新聞社ホールで

絃聖と称えられた初代橘旭宗師が、大正九年秋当時筑琵界の四天王と呼ばれた神戸の東原、江頭、四国の池畠、岡山の深谷の名人連と旭会を脱して橘会創立を宣言して宗家を名乗ったのが始まりで、昭和四十二年初代宗家逝きその葬儀席上門下幹部から二代目宗家問題が起り現家元が誕生し今日に至る。従って橘会の全国大会は之を機会に構を替えた組織となり今年は第十三回目の大会で、十月四日午前九時半より広島市の中国新聞社大ホールで開催される。主催は日本橘会、司会は中国地区会、後援芸の友社で、第一部と二部の間に式典が行われる。当の出演各流は東京、大阪、名古屋、彦根、京都、広島、岡崎、箱根その他で約二十地区の選良六十名で、上演曲合奏を加え三十五曲で、魂身の技を競う芸の殿堂を展開されると。当日の番組は、

（第一部）蓬萊山―（合奏）彦根旭城会員八名▲鴨川の露―和田旭秀▲別れの盃―佐藤旭尚▲衣川―島田旭千▲禅師と政宗―桜井旭富▲曲垣平九郎―内藤旭波▲舟弁慶―倉永旭瑛▲西郷隆盛―斉藤旭元▲大楠公―土井旭浄▲都落ち―坪内旭鳳▲本能寺―木原旭邦▲北の庄―謡場旭竜▲隅田川―田村旭都▲厳島の戦―菅旭香▲羅生門―三栖旭鋒▲小栗栖―田子旭園▲大楠公―押川旭葉▲大徳寺―志水旭城▲川中島―渡島旭鶯▲井伊大老―林田旭城▲粟津ケ原―堀田旭甲▲（式典）御挨拶―橘旭宗、堀田旭甲。祝辞―来賓。謝辞―板谷旭邑

（第二部）北の庄―北村旭心、松平旭幸、絃伊佐地、土井▲大楠公―奥村旭翠▲舟弁慶―島田旭紅▲西郷隆盛―堀川旭鵬▲曲垣平九郎―箕浦旭声▲平野国臣―伊佐地旭勢▲西郷隆盛―前田旭城▲北の庄―加藤旭粋▲羅生門―北村旭良▲大楠公―久保旭栄▲小栗栖―西村旭一声▲厳島の戦―板谷旭邑▲茨木―山崎旭萃▲橘の香―（合奏）

以上女流師範全員。

大会場満員盛況
紅会大会豪華版
美事な妙技絶讃

東京琵琶界の名物と謳われる筑前琵琶紅会は、会の主軸である名匠押田旭窮女師が、去る四月二十九日春の叙勲に勲五等に匹敵する木杯三組台付を授与されて一代の栄光を輝かし同好より祝福された。その会波が醍めやらぬ八月一日午前十一時半より日本橘三越本店の三越場劇に於て恒例の紅会大会が開催された。盛夏の季節とは言え雷雨一つない快晴で客足も早く順調な人気で開演前既に百余名の姿を見る。

序番「くれない」は、押田、宮武、小笠原、原田、仲川、若宮の六人。絃は原島、三上、石井、藤内の四人で計十人が一文字に揃いの衣裳で並んだ豪華舞台で見世場であった。次が「本能寺、月に偲ぶ」が上演されたが所用で聞き洩らし、春日旭芳の（王昭君）より聞く。絃原島さんで無難と申上ぐ。詩吟二題で石垣、坂本の二人。深谷穂繁（扇の的）絃都錦穂で熱演拍手を受く。石井旭良（大楠公）独奏、これも熱演で拍手沸く。藤内旭須美（衣川）独奏、熟心な巧演で将来の大物が期待される。三上旭鳳（伽羅の兜）独奏。若手有望組の巧者で拍手を受けた。木原旭穣直伝で当代一品と定評ある。呼吸のぐあい、間取りの巧みと伸縮自在は正に名人の貫録充分と申す所、万雷の拍手沸く。若宮旭登（二〇三高地）独奏。円熟した丹精の芸風でありいつ聞いても安心して聞ける立派なものだ。大拍手を受く。小笠原旭星（加藤清正）、絃は押田師。故名人豊田旭穣師の旭穣会門下中随一の唄い手で日本一と激賞された大家、今尚張りのある美声での力演には敬服させられる。押田師の絃の冴えと一致し美事な呼吸で万雷の拍手揚る。宮武旭豊（浜松城）独奏。俊英の筆頭と呼ばれてあとから紅会入りした巧者だけに立派な芸である。だが当日は聊か若手としては活気が薄く感じた。仲川旭朋（大物の浦）、絃押田師。東京四絃界の名物女性で全国的に知られ、薩摩、筑前、錦の三流会得の器用大家である。際立って巧みと目立たないが欠点もない平凡の達人に貫録があり人気がある。▲御挨拶は、鍛治栄二会長が押田主将以下全紅会々員十名を伴って舞台に立ち御礼の御挨拶を述べられた華やかな場面であった。

以降の演技は退場し失礼を詫ぶ。

柴田旭堂師 各地で出演

関西でプロとして幅広く活躍の柴田旭堂師は、鳥取NHKTVの平家一族の祭に出演。姫路では坂東大蔵師の琵琶劇に、大阪人形劇のクラルテに小栗判官の音楽を担当、また新内協会のアトラクションに弟子八人と共に演奏、九月三十日には東北山形で石原完爾将軍の三十三回忌墓前演奏と忙しく活躍中。

上原まりさん 東京で活躍

去る四月東京宝塚公演を最後に十三年の舞台生活から退団した上原まりさんは、其の後東京に居住歌舞伎座の新しい緞帳（辻が花）の披露に頼まれて琵琶を演奏する等、琵界に乗り出したが、九月二十六日には、呉服橋の三越名人会に「大物の浦」で出演が決り、神戸で娘を案じている母堂柴田旭堂師を感激させている。また十月十八日午後六時より、中野サンプラザで催される都倉俊一氏のコンサートにも出演が決った由で、之は洋楽との共演の外ソプラノでの出演もあり、今後が期待される。

（上原まりさん）

非売品
編集発行者 鈴木誉士
東京都練馬区豊玉北五ノ一一 電話（九九一）〇三六三番 芸の友社

琵琶詩吟名匠録

日本琵琶楽協会 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目一一ノ七 電話(501)三七八九番

薩摩琵琶 正絃会 事務所 105 東京都港区西新橋一丁目一一ノ七 電話(501)三七八九番

薩摩琵琶正絃会 理事長 自宅 185 国分寺市東元町三ノ三ノ二 事務所 港区西新橋一ノ一一ノ七 辻靖剛

鶴派琵琶錦史会本部 会主 106 東京都港区麻布狸穴四五 狸穴マンション四〇三号 電話(585)八二〇六番 鶴田錦史

琵琶、詩吟教授 岳俊 062 札幌市豊平区中の島一条九丁目 電話(831)八四七四番 内山鶴崇

日本国風流詩吟 宗家 231 横浜市中区弥生町三ノ三〇 電話(261)三二一五八番 雨宮国風

錦心流一水会本部会長 232 横浜市南区井土ケ谷中町六三 電話(731)六七七七番 中谷襄水

空城流吟舞、詩吟 010 秋田市金照寺山公園七ツ森 電話(32)九〇四・九七一 村上空城

吟詠、吟舞 125 教授所 東京都葛飾区青戸六ノ一 電(602)三〇五五番 菊水流本部

薩摩琵琶 260 千葉市登戸四ノ九ノ二 電話(41)一九〇一番 遠藤鶴東

日本琵琶振興会本部 錦川 343 越谷市大成町一の二三九二 電話(82)二四一〜三番 鈴木流泉

鶴派琵琶鶴心会 会長 111 東京都谷東区雷門二ノ五 雷門スカイマンション三〇二号 電話(845)〇〇三番 友吉鶴心

鶴派琵琶鶴朋会教授所 鶴朋会会長 334 川口市安行原二五三六ノ三 電話(96)三二八一番 石坂鶴朋

鶴派琵琶 354 埼玉県富士見市上沢三ノ八ノ七 電話(51)二七〇九番 半田淳子

鶴派琵琶 175 東京都板橋区成増町五ノ一六ノ四 電話(930)七七六二番 田中之雄

錦、都派琵琶家元 113 文京区根津二丁目一五一二 電話(821)五七〇八番 都錦穂

錦心流蘭水会 会主 662 西宮市羽衣町七ノ二一九 電話西宮(33)〇〇四〇・五六七 三浦蘭水

琵琶講談、詩吟物語 618 京都市外大山崎町高橋二一ノ一六 電話(981)一〇六七番 大野皎月

薩摩琵琶、齊幽会 272 市川市東菅野四ノ八ノ二一 電話(38)六三六七番 望月啞江

錦琵琶 274 船橋市高根台四ノ一五ノ一 電話(66)七九四〇番 木流綾子

薩摩・筑前琵琶 164 東京都中野区本町三ノ二ノ二 新都ハイツ中野新橋二〇五 電話(375)一八四七番 仲川秀邦

薩摩琵琶 125 東京都葛飾区鎌倉町四ノ三九 ノ四 電話(658)一九四七番 柏木篁道

薩摩琵琶、正絃会 167 東京都杉並区南荻窪一ノ六ノ九 長銀社宅北棟二〇号 電話(332)六四〇八番 須田誠舟

272 市川市菅野六ノ一八ノ一四 電話(22)七二二四番 清川嵐舟

錦心流琵琶輝派、輝水会本部 113 東京都文京区本郷一ノ三ノ三 電話(811)七五七四番 輝錦凌

輝水会北米支部 支部長 国風流詩吟師範（国峻） 羅府市サマーセット通三〇七 福手錦稜

錦鳳流琵琶朱鳳流詩吟 宗家 414 伊東市川奈光ガ丘一三三八 電話(32)七四(45)一七四九番 入谷錦鳳

日本錦古流総伝教師 375 藤岡市古桜町乙二四六 電話(2)〇二三七番 四方田錦隆

吟詠琵琶 420 本部 静岡市西草深町三ノ三〇 電話(53)一四七一番 赤心流家元 赤心流鶴翁

192-02 多摩市桜ケ丘二ノ二二ノ四 遠藤方 電(374)〇九九番 吟詠教授、晴声会 会長 430 浜松市鹿谷町三七―一〇 電話(71)七六六〇番 中村晴聲

琵琶・詩吟教授 164 東京都中野区中野二ノ三ノ六 電話(389)二三一九番 緒方晴舟

薩摩琵琶 東京都中野区中野二ノ三ノ六 電話(389)二三一九番 晴風会

165 東京都中野区大和町一ノ四 ノ一〇 電話(389)〇八五五番 山下晴楓

薩摩琵琶晴風会 181 三鷹市井の頭三ノ一九ノ六 電話(43)七九六五番 加藤錦陽

錦心流琵琶 400 甲府市相生町二丁目四ノ三 電話(35)二二一・二二二番 志田錦禪

錦心流琵琶輝派 輝水会山梨県支部 251 藤沢市鵠沼桜ケ岡二ノ一ノ三 電話(23)七八六七番 秋山錦賜

錦賜会 247 鎌倉市大船一ノ二四ノ一四 電話(46)二六六〇番 斎藤祥風

日本祥風流詩吟会本部 920 金沢市長町一丁目三ノ三 電話(21)二六六 田川富峯

薩摩琵琶南風会 031 八戸市内丸十一 電話(22)八七七五番 最上穂洲

正派薩摩琵琶詩吟

最古の傳統と最高の技術
薩摩琵琶 専門作製 附属品一式
創業明治十一年 石田琵琶店 東京都港区虎ノ門三ノ八ノ四 電話(431)〇三六五四八番 (地下鉄虎ノ門・バス虎ノ門二丁目下車)
薩摩調絃四 愛吟集 各定価1,500円 送料200円

琵琶 うるし塗り 三宅鶴山
922-01 石川県山中町上原口甲95 電話 07617(8)2239番

日本橘会の首脳

家元　橘　旭宗師

筑前琵琶日本橘会の家元橘旭宗師は、絃聖と称えられた初代宗家橘旭宗師の御曹子で、初代他界直後門人一同より推されて後継宗家となられたが、芸術家の希望薄く実業家を志して貿易者となり現社長として活躍。芸事橘会の方は、父の遺業として門人の資格免許を取扱う清廉高潔の紳士である。然し琵琶楽には興味深く総ゆる公演へ出向き傾聴される姿は、同好の信頼を高め敬慕されて居る。資性重厚で節義の士である。

（橘　旭宗師）

宗　範　山崎旭華師

筑前派琵琶界日本一の名匠で、昨春勲五等を受章された女性唯一の光栄者である。文部大臣賞始め幾多の賞状賞品を受け、現家元より初代の愛器まで贈呈された誉人で全国的に多くの門人を持つ名人。

（山崎旭華師）

事務局長　堀田旭甲師

戦国時代の名将徳川家康公の生れた三州岡崎市に本拠を構えて、琵琶と吟道の名匠巨頭と敬愛され岡崎随一の芸豪たるのみか愛知県連吟剣詩舞連盟の大幹部で名声全国に轟く。至誠一貫の紳士で、文筆の大家であり礼節情義の模範師として徳望高い律義者だ。

（堀田旭甲師）

大師範　板谷旭邑師

熱心な芸ファンであった亡夫に励まされて精を出し今日の巧技を賞讃される板谷女史は幸運な方である。天分の美声家で社交術の手腕が有名に拍車をかけた。広島芸界の秀華と人気も高い。

（板谷旭邑師）

東京会長　山元旭錦師

琵琶詩両道の名人で女傑と称えられた亡母旭錦師の後継者に橘家元より推されて旭錦を襲名した。吟詠錦城流二代宗家が本職である。明るい温厚な性格の紳士で、亡母譲りの二万の会員を擁し流派の拡張に専念されて居られる。

（山元旭錦師）

大師範　角田旭岑師

日本橘会創立の絃聖初代旭宗師の参謀として活躍した師範代角田旭田師の夫人で、夫君を凌ぐ優技で名声高かったのが旭岑女史だ。貞淑従順な人情味豊かな方で、多くの人より敬愛される徳人である。

大師範　西村旭一声師

東西芸能人の関所で知られた名古屋の琵琶界の古参者で中部橘会長の栄職に在る西村師は、大阪住居の山崎名人門下の俊英であり長老で昨年大師範に昇格された。素人臭の強い芸能人。

大師範　夏秋旭芳師

橘会宗範故山元旭錦名人の右腕と信頼され、吟詠錦城流副会長として全国内から海外まで名声を謳われた夏秋女史は、旭芳よりも錦穂の号が有名で九州佐世保人だ。意志強固な貞女で社交巧者。

（夏秋旭芳師）

大師範　林田旭城師

日本文化の先駆者井伊大老の居城彦根市で、琵琶詩両芸の名人と讃えられ、徳望全市に洽ねく大社の神徒総代を勤めた故山本旭城師より、在生中に号を譲られた達人林田女史は、非凡な秀技家で現代橘会の珠宝として人気旺盛者だ。

（林田旭風師）

師範　久保旭栄師

天祖降臨の地の九州宮崎県にて国民伝統思想音楽琵琶の古典を指導なさる名匠久保旭栄女史の責務は意義が深い。女史は教育家の夫人として容姿端正な貞淑の賢婦で、幼少の頃より天才を謳われた器用人。博愛の範師と人望高い。

（久保旭栄師）

師範　押川旭葉師

橘会関東地区の俊英女流を代表する芸豪者は箱根の押川旭葉師である。押川さんの優技は昨年東北秋田の空城流記念会で立証され、人気急増し各所慰労会で歓待され、曾つて経験ない好遇を受けた人気。

名誉師範　前田旭城師

初代宗家橘旭宗師が話題の種として残った逸話に名古屋芸界の名物男前田旭城師に贈った名誉師範代の免許状がある。前田師は世話好きの人侠者で良く人の面倒を見る。義に敏感な痛快人だ。

師範　三栖旭鋒師

名匠宗範故山元旭錦師の旭錦会を代表する明星の三栖旭鋒女史は容姿端麗を以って聞えた名流で教育家の夫人となり厚木に移住された。琵詩両道の妙手で人気も高く社交女性として謳われている。

師範　矢吹旭美津師

山紫水明の古都京都琵琶界の名物男田中旭鵬師の支援で放香の矢吹旭美津女史は、大阪の名匠水也田師の流れを汲む明星で、現在は大阪の山崎旭萃門の名花で立派の演技者と名声を謳わる人気者だ。近年目覚しい活躍ぶりである。

錦秋の東京芸術祭の美翼飾る
筑前琵琶各地旭会の妙技絵巻
日本旭会全国大会大演奏会
10月24・25両日大手町農協ホール
東都旭会司会で二百余名参加出演

九州男子は凛々しい雄姿の博愛思想家が多い様に、芸事を好む多彩な趣味者も多い。筑前博多の青年橘氏が、郷土芸能琵琶楽器を携えて上京し、筑前琵琶と称し家庭音楽として普及に専念し発展したのが明治中期の事で、郷土の先輩で非凡の偉人金子、頭山両氏の支援の賜物であった。橘師は門下同好の増進につれ宗家を宣言し橘旭翁と名乗り、筑前琵琶の司家として成功、大正時代には同好会員二十数万人と算えられ、日本精神武士道鼓吹音楽として陸海軍将軍から兵卒に至るまで愛好された。

日本旭会は、初代宗家橘旭翁師が、明治四十二年郷土博多で門人有志と協議して組織した会名で、同地で発会し、日本旭会全国大会の第一回は明治四十四年大阪で開催、第二回目大会は大正三年に東京で挙行された。以来昭和五年より全国大会は毎年主催地を替えて催されたが昭和十七年より戦争のため中止され、二十六年より毎年開催されるに至り、昨年福岡での大会は実に第五十回で、日本旭会創立七十周年と聞く。東京での全国大会は昭和四十六年が今迄の終催で、今年は実に十年振りである。十年目に宗家四世橘旭翁師の膝元の東京大手町の農協ホールに於て東都旭会が司会となり、十月二十四、二十五の両日午前十時十五分開演で琵琶大演奏会が催される。第一日の一部は上演曲十八曲で、御挨拶に司会の青柳重道、東京都知事鈴木俊一、日本旭会長斉藤旭章の三氏が立ち、第二部で二十曲が上演される。

第二日は一部に十八曲が演奏されて御挨拶には青柳重道、衆議院議員石原慎太郎、東都旭会長藤巻旭鴻の三氏が述べられ、第二部で十九曲が上演されて終り、大会実行委員長藤巻旭陽氏閉会の辞を述べて演奏大会は終了される。

二十四、二十五両日の番組と出演者は次の通りで（絃の演者略す）。カッコ内は旭会地名である。

第一日（第一部）

開会の辞—副会長渡辺旭寂▲お江戸日本橋—橘新琵琶楽団▲五条橋—（鹿児島）堂満旭香。絃堂満▲羅生門—（金沢）藤本旭舟。絃坂井▲関ヶ原—（長崎）宮口旭陽生。絃西川他▲石童丸—（神港）宮村旭当。絃柴田▲秋風故郷山—（筑前）小出旭雄、藤井旭鈴。絃熊手▲未練西行—（大津）安田旭富。絃若宮▲北の庄—（東都）大津旭英、古川旭冷。絃藤巻▲壺坂寺—（備後）近藤旭水。絃末広▲塚原卜伝—（東都）松元旭川▲新撰組—（肥後）岡崎旭彦▲舞扇鶴ケ岡—（金沢）吉田旭操。絃藤巻▲華道華の恵み—（選定）藤巻旭盛—（東都）石田旭邑、柴田旭蓉。絃藤巻他▲若き敦盛—（選定）熊手旭蓉。絃古川他▲綱館—（選定）柿木旭利、絃辰、藤巻旭彰、竹本旭将。絃富樫他二▲玉藻の前—（筑紫）末広旭驥▲千姫—（選定）柿木旭利、絃内田他▲御挨拶—青柳重道。鈴木俊一、斉藤旭章▲そばの花。汐風乙女—（合奏）橘新琵琶楽。藤巻旭祐外▲〔一日第一部〕▲井上中尉夫人—（大阪）工藤旭城▲山吹の夢—（神港）川村旭修▲吉野山懐古—（大分）足立旭水。絃永松▲娘みゆき—（鹿児島）新納旭芳、上原旭藤、原口旭文。絃柿木他▲坂崎出羽守—（小倉）西本旭泉、喜田旭松。絃河野旭保▲若き敦盛—（明石）大藪旭晶、大藪旭寿▲壺坂寺—（横浜）藤根旭笙、井上旭鷹。絃小原他▲壇の浦—（坊長）平田旭麿。絃末広▲衣川—（熊本）青山旭峰、前田旭鳳。絃小川他▲月に偲ぶ—（福岡）井上旭奏。絃中村他▲湖水渡—（東都）藤巻旭陽▲羅生門—（浪速）天津旭八千代。絃西川他▲石田三成—（大阪）中央）塩谷旭洲▲茶道松風の曲—（選定）宮田旭曄。琴野口、絃富樫他▲秋風故郷山—（横浜）青木旭洲、石井旭良。絃小原他▲対王丸—（筑前）通口旭清。尺八牧原、絃藤巻他▲天の羽衣—（選定）小原旭成、西川旭操、小川旭華。尺八牧原、絃柴田他▲伽羅の兜—（相生）笠旭洋。絃横野他▲小栗栖—（姫路）梅原旭濤▲旭音頭—（合奏曲）全員

第二日（第一部）

お江戸日本橋—橘新琵琶楽団▲山吹の夢—（東都）藤巻旭恵。尺八岩本。小絃藤巻他▲安宅の関—（東京）中村旭典、添野旭真。絃原島▲若き敦盛—（姫路）大西旭恵。絃西川他▲羅生門—（神港）村山旭勢▲坂崎出羽守—（東京）伴旭友、藤内旭須美▲二〇三高地—（東都）黒田旭映、古川旭神、中村旭犀。絃藤巻▲伽羅の兜—（桜井）竹本旭将▲大物の浦—（鹿児島）山下旭洋、前田旭俊、堂満旭富。絃新納他▲秋風故郷山—（岐阜）林旭寛。絃坂田▲綱館—選定。吉田旭明、渡辺旭寂、板倉旭富。絃小原他▲吉野山懐古—（東都）大西旭千恵。絃初谷他▲舞扇鶴ケ岡—（東大阪）中島旭穂。絃高千穂外▲対王丸—（東都）藤巻旭鴻。絃柿木外▲那須与市—（岡山）横野旭鳳▲義士の本懐—（福岡）中村旭園▲玉藻の前—（東京）原島旭粧▲御挨拶—青柳重道。石原慎太郎。藤巻旭鴻▲(イ)舞曲二番、(ロ)荒城の月変奏曲—橘新琵琶楽団。

【第二部】▼衣川—（浪速）青柳旭子、別所旭美、鈴木旭鈴。絃天津他▲若き敦盛—（八代）丸山旭琇。尺八岩本。絃藤巻他▲王藻の前—（熊本）高田旭鈴、梅沢旭輝、吉山旭祥。絃小川他▲関ヶ原—（岡山）谷口旭孝。絃西川他▲華道華の恵み—（選定）藤巻旭鵬。絃柿木他▲茶道松風の曲—（選定）吉島旭紅。琴野口、絃藤巻他▲秋風故郷山—（東都）東野旭枝、横山旭季。尺八牧原、絃藤巻他▲羅生門—（東都）林田旭史、内田旭章。絃藤巻他▲橘中佐—（神港）高千穂旭楓▲民り橋—（横浜）斉藤旭芳、若林旭洋、西村旭山。鼓斉藤、絃小原他▲大物の浦—（東京）若宮旭登、仲川旭朋。絃原島▲本能寺—（神戸）木庭旭山▲吉野山懐古—（大阪）尾山旭瑞常▲王昭君—（東都）藤巻旭祐、初谷旭鶯。尺八岩本、琴野口、絃藤巻他▲天の羽衣—（選定）柴田旭堂、中村旭園、富樫旭桂。尺八牧原、絃河野他▲姫百合の塔—（姫路）伊藤旭暢。絃西川他▲壺坂寺—（岐阜）坂田旭弘▲誉の水馬—（神戸）田中旭昇、浜本旭好▲旭音頭—（合奏曲）全員▲閉会の辞—藤巻旭陽。以上

琵琶一家藤巻家

旭星女史内助の功

外勤の男子が職務に精励し出世道を邁進出来るは、家庭に在る妻の内助の功に依る所多い。子孫の教育から成長して趣味や就職にも父母や特に母親の配慮指導に待つのが大半である。藤巻旭鴻師が国鉄四十年勤続の良吏も、琵琶の総師範栄位昇格も皆旭星女史の内助の功の成果である。女史は貞淑の誉れ高い賢婦で良く人の面倒を見る親切人で女傑と敬慕される有徳の謙遜家で好評高い。

日本旭会の首脳

宗家　橘旭翁師

芸は一代限りが原則である。橘旭翁宗家は世襲弾奏家で現在四代である。芸道の極致に達するには二十年や三十年では完成しない。現四世宗家は英明と聞くが未だ青年である。芸研と社会術の修業も処世の資料と申し置く。

会長　斎藤旭章師

東京で区役所の課長を務めた斎藤氏は、社会遊泳術の達人で温厚な紳士である。三世旭翁師時代から宗家の補佐役を勤め信頼厚い。

（斎藤旭章師）

昨秋永眠された旭会第一の名匠で功績者松岡師を終身名誉会長に推挙したのは私情の誤りか恩典説も立消えとなった。会長の意中を察し同情を表す。

理事長　藤巻旭鴻師

日本旭会男子弾奏家最高位の総師範で芸術部長の名匠藤巻旭鴻師は、現代唯一の琵琶一家の家長であり、東都旭会長で第五十一回旭会全国大会の責任者である。国鉄職員四十年も奉仕した至誠人で、先月入院手術を受けられたが、全治した幸運の人。信用厚い。

（藤巻旭鴻師）

元理事長　桝本旭風師

大阪の名匠水也田呑洲師に手繻きされ後も筑前派に入った聰明な実業家で、磁石会社長の桝本旭風師は、東大阪旭会長で財政通の紳士。敏腕な活動家。元日本旭会理事長を奉仕し徳望高い。

（桝本旭風師）

人格者　板倉旭富師

日本国民の伝統精神顕揚音楽琵琶の弾奏者は、温厚誠実で礼節正しい博愛心の強い良民が望まれる。四年前横浜で開かれた旭会の

（板倉旭富師）

全国大会の席上で県知事より人格を賞揚された板倉旭富師こそ真に同好の鑑と敬すべき紳士である。

範司　押田旭窈師

筑前琵琶界随一の名匠で東京の長老であり淑徳の誉れ高い女傑と称えられる。今春の叙勲日に賞勲局より木杯三組台付（勲五等相当）を授賞された栄誉の押田師巨匠は徳望斯界に冠たる名人である。

（押田旭窈師）

総師範　河野旭保師

日本旭会内では「九州の女王」と尊敬される小倉旭会長の河野旭保女師は、斯界最高位の総師範の名人で、淑徳高い敬神家で容姿端麗気品香る博愛の礼節の模範者で小倉の女流界の精華と称う。

（河野旭保師）

総師範　柴田旭堂師

水戸黄門公が建立した「忠臣稱氏の墓」の碑、湊川神社は神戸人の誇りである。両親より琵琶を教えられて育った神戸の柴田旭堂女史は、今では総師範の名匠で、旭会内屈指の芸豪で、海外へ親善使節とし派遣される名誉大家。婦人会の華。

（柴田旭堂師）

大師範　中村旭園師

人と人との交りは礼儀に始り礼儀に終る。敬神崇祖の念厚い福岡の中村旭園女史は、全国の著名なる神社仏閣に詣で献奏されるので有名である。今年も中国へ親善使節として一団と出演し名声を高めた。明朗な社交夫人で情義人。

（中村旭園師）

大師範　原島旭粧師

（原島旭粧師）

東京旭会で藤巻総師範と比ぶ女流大家は原島旭粧女史である。美声で巧技の名匠で魅力芸。活動に積極性あれば益々輝く。

大師範　小原旭成師

琵琶楽衰退期の戦後に神奈川県川崎市で、率先復興に立ち上ったのが小原旭成女史である。舞踊家と手を握り公演したのが人気となり、後に横浜に出で再起し旭会長となり今日の名人となる。名声全国に高かったのは婦徳か。

（小原旭成師）

大師範　富樫旭桂師

人は情におぼれ感情に支配されるのが常である。初対面の人でも親切に接し礼を尽す貞淑な富樫女史は、修身教養としての琵琶研習とか、常時人情味豊かな礼節人で博愛心の強い端正な方である。

（富樫旭桂師）

名匠都錦穂師　都派琵琶秋の会

10月9日夕5時　第一証券ホール

東京琵琶界に於ける現代女流の名匠で人気王の都派家元都錦穂師は、知る人ぞ知る故水藤錦穣の芸風を慕って信州諏訪から上京して入門、研練三十年を重ねて大家と呼ばれ芸豪と讃えられ、数年前に独立して都派家元を名乗り、新人の指導養成に邁進し今日数十の門下より慈母姉の如く敬われている。都派恒例の秋の公演は、十月九日夕五時より日本橋通り第一証券ホールで開催、会員大野さんの朗詠を皮切りに錦穂家元まで十余曲の各単奏と、来賓格の錦心流の石井桑水、荒井姿水、輝水派の輝錦統、大舘派の荒川洲帆、筑前旭会系の原島旭粧の諸大家が協賛し妙技を発揮される由で興味が多い。当日会主都女史は「熊谷蓮生坊」と得意中の十八番「伊那の曲」の二曲を上演して日頃の御支援に酬ゆると殊勝な意気込みであり当日の大人気が期待される。

（都　錦穂師）

鶴田師が一門と新曲を放送した

琵琶音楽世界一の巨匠鶴田錦史女師は、越前の曹洞宗大本山永平寺開基の道元禅師の禅章「一水四見」をジャズ作曲者が琵琶のために作曲された新曲を八月二十一日午後三時十分NHKより十六分に亘り放送された。放送演者は鶴田錦史、半田淳子、田中之雄、三宅博、今井朝子の五人で、無言の絃楽奏で、音の大小、高低緩急自在と間どりの巧みさは一般愛好者も判断出来るが音響の微妙さと意味は不明で唯感銘を受けたのみで終る。作曲に馴染み薄い故か。

日本旭会の首脳

理事　吉田旭明師

三世旭翁宗家の親任厚かった東京旭会幹事長吉田旭明師は、旭会本部経理担当理事兼東京旭会長で、前菊川郵便局長を奉職された温厚な誠実家である。斯界の長老格で信用厚い大家で有名。

（吉田旭明師）

関連会長　田中旭昇師

旭岡会幹事長を多年勤め松岡名人の後継者と注視された神戸の田中旭昇師は、今年関西旭会連合会を結成し、その会長に推挙されて実権者となられた。永年の郵政官吏で信頼され、明朗な社交家であり熱心な芸術大家で名声高い。

（田中旭昇師）

藤巻一家の明星

家長　藤巻師鴻師

日本旭会の芸術部担当責任者で総師範と最高位の名人藤巻師は、東都旭会長で第五十一回全国大会の司会長。日本琵琶楽協会の理事長を歴任し現在副会長である。誠実一貫の実践巨匠で信頼高い。

夫人　藤巻旭星師

良妻賢母の亀鑑と近郊の大衆より敬慕される旭鴻師の夫人旭星女史は、淑やかな従順の主婦で、人目につく芸能人らしい華美な行動は一切ない。親切第一の佳人で芸技は抜群の魅力が身上は素晴しい

（藤巻旭星師）

師範　藤巻旭陽師

今回の旭会全国大会に父に代って司会実行委員長を務むる長男の旭陽師は、大学卒の秀才で、昭和二十四年から父の教導で琵琶界入りし現在師範格の大家。温厚篤実の性質で、神奈川県教育委員会社会教育主事として藤沢市庁に奉職中

（藤巻旭陽師）

準師範　藤巻旭彰師

旭会本部理事の準師範藤巻旭彰師は、父が永年奉職した国鉄本社勤務し経理局会計課々長補佐で、大学出の敏腕を揮い全員の信望頗る厚く重視されている。師は全国大会毎に各地へ出張応援され人気者。社交家で技倆優秀。以上の外に藤巻旭鵬、旭祐、旭恵、真一、典子、加奈子の青少年の有望弾奏家が日夜精励され、琵琶一家としての誇りを示している。

（藤巻旭彰師）

工芸美術楽器
筑前琵琶
品質本位製作
製作者　桑田芝山
東京都大田区本羽田二十一ノ二十一
電話三(743)〇〇六八

日時　昭和五十六年十月九日（金）午後五時
会場　日本橋　第一証券ホール

都派琵琶秋の公演

主催　錦穂後援会

西宮文化祭彦加
蓮水会主催

琵琶詩吟舞大会

10月25日11時に
夙川公民館にて

錦心流琵琶関西一の名匠で、吟詠の大家。社交婦人として有名な西宮市夙川の三浦蓮水女師は、今春一月に琵琶作詩家松野紫雲名で徳望高かった夫君三浦忠老に逝かれ、淋しく余生を趣味の道に送られて居られるが、毎年市文化祭に参加し公民館松下ホールで演奏会を主催し今年二十一回の琵琶詩吟舞大会を十月二十五日午前十一時より開催して故松野紫雲翁の追悼を兼ね、翁の作品を多く上演してみ魂をお慰めされると言う。

(三浦蓮水師)

当日の主な上演曲と奏者は、大和懐古—木の宮梅水、吉田秋水▲政岡—滝沢花水▲菊の旗—反町紫水▲日蓮誕生—川上琵水▲秋風五丈原—楊嶽水▲(来賓)天目山—中山鳳水▲霸王と虞美人—小川吟水▲文天祥—平井春嶺▲厳島の戦—林田旭城▲琵琶舞、屋島回顧—三浦蓮水。舞原義人▲楊貴妃—三浦蓮水。以上で当日の盛況が予想される。

最上穂洲師が薩摩琵琶演奏会

東京より名流
招いて二回目

八戸市の書家で敬神家の最上穂洲師は、東京より薩派の名流輩部岳瑞、仲川秀邦、八東一峰、清川嵐舟、本橋汕舟諸氏と石田琵琶店主四世不識氏を招じ九月二十三日午前十一時より午後三時半まで市公民館で演奏会を開催、市民の詩吟、邦舞も参加されるという。

札幌旭麗会創立20周年記念大会

北海道の首都札幌市で筑前琵琶師匠として活躍している荒木旭麗女史は、日本橋会の宗範で大和流琵吟宗家であり、昨年勲五等瑞宝章を受章された当代女流弾奏家唯一の栄誉人で名人と讃えられる大阪の山崎旭萃師の門下である。

旭麗会が創立二十周年を迎えてその記念大会を七月二十六日午前十時より真駒内の区民センターホールで開催し、詩吟、琵琶、舞踊、合吟、合奏等第一部と二部に分け七十余番を上演し入場客を楽しませ人気を沸き立たせて盛評を博した。当日の主な琵琶の出演者は、大阪の山崎旭萃宗範を筆頭に会主荒木旭麗、京都の矢吹旭美津、田中旭鵬、東京の佐藤旭天紅、山下旭瑞、安藤、木村の七氏で、地元の山崎紅水、二反田岳水、渡会狭水、詩吟の辻林氏等も出演された。

以上諸名流の奏曲は、山崎旭萃曲垣平九郎)、荒木旭麗(ああ小野訓導)、矢吹旭美津(青葉の笛)、佐藤旭天紅(淀君)、山下旭瑞(源実朝)、田中旭鵬(大楠公)、山崎紅水(菅公)、二反田岳水(羅生門)であった。

木原綾子師来訪

当代琵琶界屈指の名匠千葉県船橋市の木原綾子女師は、八月三日午後二時半頃芸の友社鈴木老社長宅を来訪され、斯界の情況歓談約二時間に及び如何にも楽しげに過し四時すぎ辞去された。

正絃会八月演奏会

東京の薩摩琵琶正絃会八月演奏会は、十六日午後一時より芝愛宕山業根で開き、正本溪舟、津和田岳翌、佐藤湘春、須田誠舟、遠藤鶴東諸氏の独奏と、最後に門びわの合奏で終り不振であった。

輝都両女史来訪

輝水派本部の輝立枝女史と都家元の都錦穂女史の両人は、八月十日午後一時頃連れ立って本社へ来訪され、久し振りで鈴木老社長と歓談を交し、琵琶界の近況や動勢に就て報告され会談二時間余に及び午後四時過ぎ辞去された。

詩吟・書道教室

琵琶洲楓会
会長 広瀬圭穂
187 東京都小平市仲町一九〇 電話0423(41)二四三六番

琵琶洲楓会
会長 大舘美江子
156 東京都世田谷区蟹山二ノ一〇 電話(329)三五五〇番

琵琶洲楓会
洲月会 会長 前田洲月
166 東京都杉並区成田東五ノ一〇ノ一〇 電話(393)三二三三四番

琵琶洲楓会
洲聖会 会長 桑名洲聖
108 東京都港区白金一ノ三ノ二 電話金金(441)三六一七番

琵琶洲楓会
洲誠会 会長 平井洲誠
395 埼玉県所沢市日吉町七ノ三 電話(0429)元(922)三一七五番

琵琶洲楓会
洲帆会 会長 荒川洲帆
150 東京都渋谷区渋谷一ノ六ノ四 電話(407)〇〇七〇番

琵琶洲楓会
洲玲会 会長 稲垣洲玲
154 東京都世田谷区梅丘一ノ一六ノ七 電話(428)四五七五番

琵琶洲楓会
洲陵会 会長 松崎洲陵
281 千葉市黒砂台三ノ九ノ二八 電話0472(51)〇三一四番

琵琶洲楓会
洲鳳会 会長 山田洲鳳
160 東京都新宿区新宿一ノ四ノ九 電話(352)七三六六～七番

琵琶洲楓会
洲友会 会長 彼ノ矢洲友
150 東京都渋谷区本町五ノ一〇ノ一 電話(376)三五五三番

琵琶洲楓会
洲心会 会長 中村洲心
166 東京都杉並区高円寺南二ノ一三 電話(311)七九六〇番

琵琶洲楓会
洲佳会 会長 真泉洲佳
299-32 千葉県山武郡大網白里町上貝塚前原四三ノ二一 電(0475)七四七五番

琵琶洲楓会
洲博会 会長 荒川洲博
020-01 盛岡市緑ガ丘四ノ五ノ一二 電話(0196)〇二八五番

琵琶洲楓会
洲晃会 会長 加藤洲晃
214 川崎市多摩区南生田一ノ一四八 電話(954)七〇〇六番

琵琶洲楓会
洲峰会 会長 岡田洲峰
158 東京都世田谷区等々力四ノ八ノ一一 電話(701)五七三七番

琵琶洲楓会
洲丈会 会長 金尾洲丈
112 東京都文京区小石川三ノ三ノ五 電話(811)五二一〇番

琵琶洲楓会
洲丈会 会長 佐伯旭瑛
577 東大阪市俊徳町一ノ二ノ八 電話(722)一四八二番

琵琶洲楓会
洲良会 会長 北村旭良
680 鳥取市片原四ノ二一七 電話(08572)(22)〈七一三番

琵琶洲楓会
洲玲会 会長 稲垣洲玲
154 東京都世田谷区梅丘一ノ一六ノ七 電話(428)四五七五番

琵琶洲楓会
洲陵会 会長 松崎洲陵
281 千葉市黒砂台三ノ九ノ二八 電話0472(51)〇三一四番

琵琶洲楓会
洲鳳会 会長 山田洲鳳
160 東京都新宿区新宿一ノ四ノ九 電話(352)七三六六～七番

琵琶洲楓会
洲晃会 会長 加藤洲晃
214 川崎市多摩区南生田一ノ一四八 電話(954)七〇〇六番

琵琶洲楓会
洲博会 会長 荒川洲博
020-01 盛岡市緑ガ丘四ノ五ノ一二 電話(0196)〇二八五番

琵琶洲楓会
洲佳会 会長 真泉洲佳
299-32 千葉県山武郡大網白里町上貝塚前原四三ノ二一 電(0475)七四七五番

琵琶洲楓会
洲心会 会長 中村洲心
166 東京都杉並区高円寺南二ノ一三 電話(311)七九六〇番

琵琶洲楓会
洲友会 会長 彼ノ矢洲友
150 東京都渋谷区本町五ノ一〇ノ一 電話(376)三五五三番

筑前薩摩琵琶製作
三田村謹製琵琶糸
東京都渋谷区神山町八番地三号
NHK放送センター西口前
三田村楽器店
電話 渋谷(466)六八二二番

琵琶詩吟名匠鈔

筑前琵琶
日本橋会
事務局 444 岡崎市城北町一七ノ一(堀田方) 電話(21)四四三三

筑前琵琶和流琵琶吟大萃会
宗家・光徳 山崎旭萃
569 大阪府高槻市宮田町一ノ六ノ五 電話〇三六(93)三一五九番

筑前琵琶橋会師範
旭邦会 大坪旭邦
154 東京都世田谷区梅丘一ノ三六ノ六 電話(429)〇五六〇番

筑前琵琶橋会大師範
専務理事 事務局長 堀田旭甲
444 岡崎市城北町一七ノ一 電話(21)四四三七番

詩吟静風流鳳凰会
旭鳳笹川鎮江
112 東京都文京区千石町一ノ三ノ三 電話大塚(941)〇七三二番

筑前琵琶
日本旭会
本部 102 東京都千代田区三番町三 橋旭翁方 電(262)三六七

筑前琵琶日本旭会
会長 斉藤旭章
102 東京都千代田区三番町三番町コンド三〇二 電(263)三六三

筑前琵琶日本旭会
範司 押田旭窈
160 東京都新宿区三栄町一六 電話(350)四五九一番

筑前琵琶日本旭会
総師範 河野旭保
802 北九州市小倉北区馬借一ノ四ノ五 電話(521)八三四〇番

筑前琵琶橋会大師範
宗家 山元錦城
166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三 電話(315)六一一二一二番

筑前琵琶橋会
大師範 角田旭岑
152 東京都目黒区目黒本町一ノ六ノ三 電話(712)一二三三四番

筑前琵琶橋会大師範
大和流琵吟総範 板谷旭邑
730 広島市橋本町一〇番二五号 電話(21)二三二九一番

筑前琵琶橋会大師範
詩吟錦城流宗範 夏秋旭芳
857 佐世保市谷郷町四ノ一 電話〇九五六(23)一二三四番

筑前琵琶保存会
筑前琵琶博多旭蝶会
810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二 (鎮派 嶺旭蝶方) 電話〇九二(761)〇三二一〇番

筑前琵琶旭鴻会本部
総師範 藤巻旭鴻
171 東京都豊島区高松三ノ十二 電話(955)三六四五番

師範 藤巻旭陽
253 茅ヶ崎市香川一二八一 電(0467)(51)九七九八番

准師範 藤巻旭彰
349-01 埼玉県鶴田市御前橋一ノ六ノ七 電(0480)(68)三二一番

筑前琵琶旭堂会
総師範 柴田旭堂
651 神戸市中央区上筒井通五ノ二 電話(221)一一六一番

筑前琵琶東大阪旭会
会長 桝本旭風
537 大阪市東成区神路一ノ八ノ六 電話(981)三九一～四番(972)三九六番

筑前琵琶橋会大師範
宗家・光徳 山崎旭萃
569 大阪府高槻市宮田町一ノ六ノ五 電話〇三六(93)三一五九番

筑前琵琶橋会師範
旭邦会 大坪旭邦
154 東京都世田谷区梅丘一ノ三六ノ六 電話(429)〇五六〇番

筑前琵琶橋会大師範
専務理事 事務局長 堀田旭甲
444 岡崎市城北町一七ノ一 電話(21)四四三七番

詩吟静風流鳳凰会
旭鳳笹川鎮江
112 東京都文京区千石町一ノ三ノ三 電話大塚(941)〇七三二番

筑前琵琶
日本旭会
本部 102 東京都千代田区三番町三 橋旭翁方 電(262)三六七

筑前琵琶日本旭会
会長 斉藤旭章
102 東京都千代田区三番町三番町コンド三〇二 電(263)三六三

筑前琵琶日本旭会
範司 押田旭窈
160 東京都新宿区三栄町一六 電話(350)四五九一番

筑前琵琶日本旭会
総師範 河野旭保
802 北九州市小倉北区馬借一ノ四ノ五 電話(521)八三四〇番

筑前琵琶橋会大師範
宗家 山元錦城
166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三 電話(315)六一一二一二番

筑前琵琶橋会
大師範 角田旭岑
152 東京都目黒区目黒本町一ノ六ノ三 電話(712)一二三三四番

筑前琵琶橋会大師範
大和流琵吟総範 板谷旭邑
730 広島市橋本町一〇番二五号 電話(21)二三二九一番

筑前琵琶橋会大師範
詩吟錦城流宗範 夏秋旭芳
857 佐世保市谷郷町四ノ一 電話〇九五六(23)一二三四番

筑前琵琶保存会
筑前琵琶博多旭蝶会
810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二 (鎮派 嶺旭蝶方) 電話〇九二(761)〇三二一〇番

筑前琵琶旭鴻会本部
総師範 藤巻旭鴻
171 東京都豊島区高松三ノ十二 電話(955)三六四五番

師範 藤巻旭陽
253 茅ヶ崎市香川一二八一 電(0467)(51)九七九八番

准師範 藤巻旭彰
349-01 埼玉県鶴田市御前橋一ノ六ノ七 電(0480)(68)三二一番

筑前琵琶旭堂会
総師範 柴田旭堂
651 神戸市中央区上筒井通五ノ二 電話(221)一一六一番

筑前琵琶東大阪旭会
会長 桝本旭風
537 大阪市東成区神路一ノ八ノ六 電話(981)三九一～四番(972)三九六番

筑前琵琶橋会大師範
旭城会 林田旭城
522 壹根市中央町六ノ二 電話(2)〇三一六番

筑前琵琶橋会
師範 押川旭葉
250-04 神奈川県箱根町強羅一四〇〇 電話0460(2)一一一二番

筑前琵琶詩吟教授
橋会師範 石河旭雲穣
464 名古屋市千種区徳川山町一ノ三ノ七 電話〇五二(751)七八〇九番

筑前琵琶、旭粧会
大師範 原島旭粧
160 東京都新宿区西新宿六ノ七ノ 電話(342)五五六四番

筑前琵琶旭登会
師範 若宮旭登
189 東村山市美住町一ノ四久米川公団六ノ三四 電話(91)九三一番

筑前琵琶旭紅会
師範 大津旭紅
177 東京都練馬区下石神井四ノ九ノ六 電話(904)〇六六六番

筑前琵琶神戸旭会長
日本旭会理事・大師範 田中旭昇
653 神戸市長田区梅ヶ香町一ノ三ノ四 電話〇七(671)〇〇一八番

筑前琵琶日本旭会
中村旭園
810 福岡市中央区今川二ノ七ノ三 電話(751)〇〇一七・(771)〇〇一七八番

筑前琵琶教授
大師範 小原旭成
241 横浜市旭区本宿町一〇六 電話〇四五(953)一八九三番

筑前琵琶横浜旭会
板倉旭富
231 横浜市中区本牧大里町一一四 電話(622)六四八六番

筑前琵琶橋会師範
旭瑛会 佐伯旭瑛
577 東大阪市俊徳町一ノ二ノ八 電話(722)一四八二番

筑前琵琶橋会師範
鳥取旭良会 北村旭良
680 鳥取市片原四ノ二一七 電話(08572)(22)〈七一三番

筑前琵琶橋会師範
田子旭園
683 鳥取県米子市岩倉町六〇 電話〇八五九(33)九〇五七番

筑前琵琶橋会師範
詩吟朗詠錦城流大師範 三栖旭鋒
243 神奈川県厚木市栄町一ノ五ノ 電話(0462)二七二四番

錦心流琵琶
荻野甲水
173 東京都板橋区板橋町二ノ四ノ 電話(966)八五九四番

錦心流琵琶
秋山溪水
153 東京都目黒区上目黒三ノ四ノ 電話(711)〇六〇六番

錦心流琵琶
愛吟会 山田幻水
237 横須賀市船越町一ノ五〇 電話(0468)(61)三六七六番

錦心流琵琶
高田栄水
176 東京都練馬区豊玉北四ノ三 電話(991)七二〇八番

錦心流琵琶
土橋虎水
238 横須賀市富士見町一ノ五一 電話(0468)(22)二三六一番

錦心流琵琶秋声会
阿部秋子
454 名古屋市中川区中島新町中川住宅ヲ四〇 電話(353)〇二八四

錦心流琵琶
金尾洲丈
112 東京都文京区小石川三ノ三ノ五 電話(811)五二一〇番

橋流筑前琵琶宗家師範
琵吟・詩吟教授 松村旭奎
154 東京都世田谷区粕谷三ノ三ノ六 電話(300)四八三三番

筑前琵琶、詩吟教授
師範 佐野旭晴
657 神戸市灘区上河原通三ノ四ノ六 電話(861)五三一六番

筑前琵琶詩吟高千穂流
会長 東野穂峰
106 東京都港区元麻布一ノ五ノ一〇 電話(440)七六六七番

薩摩琵琶鶴声風
遊心会 若林鶴山
250 小田原市浜町一ノ七ノ五 電話〇四六五(22)二三九七番

錦心流琵琶親誠会
会長 石井桑水
238 横須賀市公郷町二ノ一〇 電話0468(51)一一六四番

錦心流琵琶
奥村慧水
456 名古屋市熱田区千代田町ヲ 電話〇五二(671)一三一〇六番

錦心流琵琶尚水会
林尚水
053 苫小牧市白金町二ノ十三 電話〇一四四(73)九八九三番

錦心流琵琶
寺山注水
242 大和市福田四九六四ノ三八 電話〇四六二(61)七一八〇番

錦心流琵琶一水会
横浜支部長 栄崎統水
220 横浜市西区戸部本町一五ノ二 電話(32)三六五一番

錦心流琵琶
洲丈会 会長 金尾洲丈
112 東京都文京区小石川三ノ三ノ五 電話(811)五二一〇番